

香美市子ども・子育て支援事業計画における個別事業の進捗状況（令和3年度）（C評価抜粋）

No.	実施事業	担当課	事業内容	取り組み・成果	課題等	評価	今後の方向性	C評価とした理由
12	新・放課後子ども総合プラン	教育振興課 (学校教育班)	放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を目指し、取組を検討していきます。また、必要に応じて余裕教室の活用を含め計画的に整備するとともに、一体型の取組に向けてすべての小学校区での連携を目標とし、放課後児童クラブ指定管理者、学校等と検討していきます。	放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携実施に向けて、指定管理者と検討を行いました。 香長小学校において、連携型子ども教室を実施しています。	コーディネーターとなる人材確保が難しく、全ての学校で実施できない状況です。また、放課後等学習支援事業と内容の重複も見られます。	C	学校・放課後児童クラブ指定管理者と連携実施に向けた具体的な取組を進めます。	香長小学校では新型コロナの感染拡大状況を見ながら、規模を縮小して実施しました。 未実施の小学校においては、コロナ禍に新たに事業を始めることが困難で、実施できませんでした。
61	集落維持活性化と移住促進	定住推進課 (定住班)	<ul style="list-style-type: none"> 移住を促進し地域の新たな担い手を確保するために、NPO法人いなかみと連携した移住相談や情報発信を積極的に行います。また、空き家バンク制度やお試し移住体験住宅の運営により、移住希望者への支援を行います。 物部町で集落活動センターの設立を目指し、地域への周知を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「香美市移住定住推進協議会」は会議を開催し、情報の共有や課題の解決に向け協議を行っています。 NPO法人と連携し、移住相談会や移住ツアーなど、地域の魅力を発信するとともに、空き家バンクによる住居の紹介など、移住促進に取り組んでいます。 中山間地域で、愛着のある住み慣れた地域で暮らしつつけるために、地域住民が主役となり、その地域に必要な仕組みを構築し、集落の維持・再生を目指す仕組みを形成する集落活動センターの設立に向けた支援を行います。 集落活動センター美良布は、平成29年3月に開所し、平成30年7月に交流拠点となる交流スペースが完成し、稼動しています。各部会で新商品開発や特産品の販路開拓、体験ツアーに取り組んでいます。 平成30年4月に開所した集落活動センターひらやまでは、地域の集いの場としてさらなる機能拡充を図るため、旧平山小学校敷地内にボルダリング室・農産物加工室と倉庫の複合施設を建設しました。特産品の開発・生産に取り組んでいます。 令和2年7月に物部地区集落活動センター準備会が設立されました。地域住民主体で集落活動センター設立に向けて話し合いが進められています。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少の著しい物部町への移住促進に取り組む必要があります。 空き家バンク物件の充実が課題となっています。 物部地区での集落活動センター設立に向けて、正確な情報提供を行う必要があります。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクの物件を充実させ、移住を促進する。 物部地区集落活動センター推進協議会設立を経て、集落活動センター開所を目指して、支援を継続します。 	<p>移住については、概ね計画通り実施できていますが、物部地区集落活動センターについては、令和3年度末に協議会の設立を目標としていましたが、協議会の委員が辞退するなど、計画に遅れがあったためC評価としました。</p> <p>今後も開所に向けて協議を継続して続けていきます。</p>